

ジスラインS

取扱説明・施工要領書

この度は当社のジスラインSをご採用頂き、誠にありがとうございます。本製品を正しく施工して頂くため、使用前に必ず本取扱説明・施工要領書をよくお読みのうえ、正しく使用くださいますようお願い致します。

※施工業者の方へ：本取扱説明書・施工要領書は施工完了後、ユーザー様へお渡しください。

※ユーザー様へ：本取扱説明・施工要領書は、大切に保管してください。

I. 取扱説明



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

◆全般的なご注意



警告

本製品は、路面に貼り付けて区画線や情報を標示するものです。他の用途には使用しないでください。

設計者の方へ

◆設計上のご注意

1. 凹凸の激しい所や路盤が軟弱で変形しやすい所などには設計しないでください。
2. 既存ラインが除去できない場所への設計はしないでください。
3. 路面上のほこり、泥、水分、油分が除去できない場所への設計はしないでください。
4. 極端な凹凸や割れ目の多い場所への設計はしないでください。
5. 磁器タイルへの施工は推奨いたしません。
6. 樹脂舗装への施工は推奨いたしません。
7. アスファルト継ぎ目部分や、鉄製ジョイント・排水溝等を跨ぐ箇所への設計は避けてください。

施工者の方へ

◆施工上のご注意

1. 本製品はアスファルト路面に加熱溶融して貼り付けるものです。よって、路面にほこり、泥、水分、油分等がありますと、接着不良で剥がれる場合があります。このような接着を阻害する要因がある箇所へは絶対に施工しないでください。
2. アスファルトやコンクリート以外の既存溶着型塗料上では、下地が焦げますので除去してから施工してください。
3. 路面温度が5℃以下、雨・雪のある場合の施工は避けてください。
4. 新設アスファルトの場合は夏期で2週間、冬期で3週間以内は施工を避けてください。バーナーでの加熱の際、高温でアスファルト路面が流動する恐れがあります。また、遊タール、アスファルト成分により汚れが付着したり剥離する恐れがあります。
新設コンクリートの場合は夏期で3週間、冬期で4週間以内は施工をさけてください。新設の場合、アルカリ性が強く、剥離する恐れがあります。施工の際には表層のレイタンスを除去してから施工しなければ剥離する恐れがあります。
5. 水が入らない場所に貯蔵してください。
6. 40℃以下の場所に貯蔵してください。
7. ジスラインSプライマーは、揮発性の有機溶剤が混入していますので、施工時は十分に通気性を確保し必ず保護具を着用してください。
8. 本製品を落とすなど強い衝撃を与えないでください。製品の破損の原因となります。両手で慎重に扱ってください。
9. 後述の「ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断」を参照し、適切な施工方法で施工してください。
10. 夏場など散水した場合は、すべり易くなりますので、散水した水を除去してから交通開放してください。

ユーザー様へ

◆その他のご注意

1. 本製品が摩耗して消えてきた場合は、標示効果がなくなりますので早めの再施工をしてください。
2. 施工後剥がれ等ないか定期的に点検してください。剥がれた部分等ありましたら除去し、弊社営業までご連絡ください。

Ⅱ. 施工要領

◆準備

準備していただく機械・工具・材料等	使用目的
・カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
・ハンドパーナー(φ60mm) ・LPGガスボンベ	シート加熱溶融とその燃料
・清掃用ブラシ、ほうき ・抹消機	設置面の清掃
・プライマー(1液タイプ)、当社ジスラインSプライマーをご使用ください。 標準使用量 0.27L/㎡(ロス含む)	プライマー
・ローラー、スポンジ、容器	プライマー塗布
・チョーク、コンベックス	製品設置位置決定
・保護手袋、防毒マスク	保護

①安全確保



警告

施工が安全に行える様に現場周辺にはカラーコーンや工事用バリケード等の安全用具の設置又は交通規制等を行ってください。

②路面の清掃

設置場所のほこり、泥、水分、既存ラインなど路面付着物をほうきやブラシまたは抹消機で取り除いてください。

剥離の恐れがあるため、5℃以下での施工はしないでください。

雨や雪がある場合は施工を避けてください。

③貼付位置の決定

貼り付ける位置をチョーク等で正確に目印や線出しをします。

④プライマー塗布

1. シートの大きさより2cm位広めにジスラインSプライマーを路面凹部までカスレやタマリがないようにムラなく塗布します。

塗布量:0.27L/㎡

乾燥時間:約10～15分(20℃目安)

2. 保護手袋をして塗布面を触り、プライマーが手袋につかない程度まで乾燥させてください。



プライマーは、当社 ジスラインSプライマー を使用してください。

使用にあたっては、ラベルに記載の注意事項、又は SDS をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

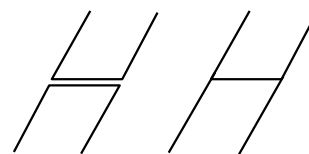
⑤シートの設置

プライマーの揮発成分がなくなったことを確認した後、梱包されている図面を参考に、シート裏面に土砂等をつけないよう留意しながらシートを配置してください。

冬場は特に割れやすいため、取扱い時には両手で製品を持ち、破断に十分ご注意ください。

破断した場合は、その部分を元の様に並べてから加熱してください。

光沢があり、ざらついている面が表面です。



悪い展開例

正しい展開例

⑥加熱溶融

ハンドバーナーは往復操作を行って、断続的に加熱しますが、焦げない程度の火力にしてください。

下記加熱度合のランクEまでシート中央から外側へ空気を抜くようにして必ず行ってください。

- ・ハンドバーナーの開口部: 6cm程度
(小さいと熱量不足、大きいと作業性が悪くなります)
- ・炎の強さ: 初めは弱火でシートを下地になじませます。
後は中火程度で加熱します。
- ・ハンドバーナーと路面までの距離: 20～40cm
- ・加熱時間: 20分/㎡(20℃での目安)
(路面温度が低い時は加熱時間を延ばして施工してください。)



ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断

※ランクEまで加熱してください。A～Dですと剥がれの原因となります。

加熱度 ランク	ジスラインSセットアップタイプ、ジスラインSの 表面状態	図 示	接着状態
A	路面になじむ		まったく 接着していない
B	気泡により部分的にふくらみが発生		不十分
C	気泡が破れて穴が開く		不十分
D	さらに路面の細かい凸凹になじみ、 シート表面がわいてくる		接着性発揮
E	シート表面がわいてきて、大きな穴が小さくふさがっていき、小径の穴(針でついたように)が多数発生する。(みかんの皮状表面を呈する)		完全に 接着性発揮
F	加熱し過ぎ さらに加熱すると シート表面が焦げてきます		完全に 接着性発揮

ランクB(加熱不十分)



ランクE(加熱完了)



ジスラインSの加熱度合いについて詳しく知りたい方はこちら



警 告

・プライマー等の有機溶剤や燃えやすいものを近くに置いた状態での火器のご使用はしないでください。



注 意

- ・加熱溶融時は発火や火傷の恐れがありますので、十分にご注意ください。
- ・溶融物が目に入った場合は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・シートの加熱は、弱火で全体を馴染ませてから行ってください。加熱不足はシートの剥がれを起こしますので、上記の「ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断」を参照し、適切な施工方法で施工してください。
- ・同じところを長い間加熱しますと焦げる場合がありますので、十分にご注意ください。

⑦交通開放

シート冷却後、指で触れてべとつかない程度になれば、交通開放してください。

夏場など冷却の遅い場合は、タイヤの跡がつきやすいため、施工後約5分ほど様子を見てから散水等で冷却してください。

散水した場合は、そのままにしておきますと滑りやすくなっていますので、路面の水分を除去してから交通開放してください。



注 意

施工直後に散水しないでください。

施工直後に散水しますと突沸した蒸気により火傷する恐れがあります。